世界ニホンザルの日

Celebrate World Japanese Macaque Day on December 3rd!

1948年12月3日、宮崎県の幸島で、京都大学の今西錦司らが初めて
ニホンザルの調査をおこないました。
これにちなみ、12月3日を「世界ニホンザルの日」とします!





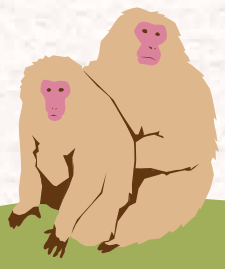
撮影:高野智　場所:波勝崎モンキーベイ

1948年12月3日、宮崎県の幸島で、京都大学の今西錦司らが初めてニホンザルの調査をおこないました。これにちなみ、12月3日を「世界ニホンザルの日」とします。ニホンザルは、ヒトを除く霊長類の中でもっとも北に生息し、霊長類の多様性を象徴する動物です。生態や社会から医学まで、霊長類学に多くの知見をもたらしてきました。絶滅が心配される地域もあれば、ヒトとの軋轢が生じている地域もあり、ヒトと野生動物の共存について考えさせてくれる存在でもあります。「世界ニホンザルの日」を、このようなニホンザルの魅力を知り、関心を高め、保全や飼育下の福祉向上について考える日にしましょう。
今年のポスター写真は、南伊豆の「波勝崎モンキーベイ」です。波勝崎では1953年頃からサルの餌付けが試みられ、1957年に波勝崎苑が開苑、現在は波勝崎モンキーベイとして開園しています。ふつうサルが海岸を利用するのは幸島や金華山のような島の生息地に限られますが、波勝崎では海岸でくつろぐ姿を観察できます。

関連イベントなどは
Webサイトをご覧ください

関連イベント、ポスター掲載レポート募集中!

https://sites.google.com/view/world-japanese-macaque-day/



世界ニホンザルの日 2026実施事務局
日本モンキーセンター JAPAN MONKEY CENTRE
愛知県犬山市犬山官林26
TEL 0568-61-2327